

平成27年 10月 1日作成

環境活動レポート

大栄産業 株式会社

認証・登録番号0007947

認証・登録日2012年1月27日



《目次》

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 環境方針 | P-1 |
| 2. 事業活動の規模 | P-2～5 |
| 3. 環境目標とその実績 | P-6 |
| 4. 環境関連法規制の遵守 | P-7 |
| 5. 環境活動の取組計画と評価 | P-8 |

環 境 方 針

基本理念

大栄産業株式会社は、「私たちの地球環境にやさしい循環調和型社会の構築」をスローガンに、建造物総合解体工事、産業廃棄物収集運搬業を中心とした事業活動に関連する全ての法令を遵守します。また、環境への負荷低減を継続的に実践することが、企業としての社会貢献と考えこれを実行します。そのためには、自主的な環境活動への取り組みを行うべく、以下の基本方針に掲げる項目に邁進していきます。

基本方針

1. 事務所

- (1) 事務所から排出される廃棄物は、確実に分別します。
- (2) 電気・水・紙の資源を節約します。
- (3) 事務用品などの、グリーン購入に努めます。
- (4) 環境方針の実行にあたり、全従業員に周知し、意識向上のため教育を行います。
- (5) お客様に不快感を与えないよう、服装、姿勢、言葉遣いに気をつけます。

2. 工事現場

- (1) 解体開始前に、しっかりとした養生を設置し、周囲への飛散防止に注意する。
- (2) 解体作業中は、必ず散水設備を用意し粉塵を極力抑える。
- (3) 重機作業を行う際は、騒音・振動を最小限に抑え、近隣への配慮に気を遣う。
- (4) 現場内における発生材の分別を徹底し、リサイクル率向上に努めます。
- (5) 現場は、我々の鏡である事を自覚しきれいな現場、誇れる現場造りを心がけ、整理・整頓に努めます。

3. 車両

- (1) 無駄なアイドリングはしない。
- (2) 車間距離を十分にあける。
- (3) 早めのブレーキ。
- (4) コンテナ脱着時の、無駄な空ふかしはしない。
- (5) 急発進・急加速はしない。

4. 環境活動レポートを一般公開します。

制定：平成23年5月27日

大栄産業株式会社
代表取締役 戸塚 和昭

労働安全衛生方針

大栄産業株式会社は、安全第一の方針もと、当社社員全員の「安全」と「健康」の確保を最優先とし、安全の三原則である「整理整頓」「点検整備」「標準作業」を遵守し、安全な職場環境の実現を目指し、社員一丸となって労働安全衛生活動を積極的に推進します。

ゼロ災害を目指し、危険源を的確に把握し、排除するための労働安全衛生目標を定めて実施し、パフォーマンスの改善を行い、労働安全衛生活動の継続的改善に努めます。

当社は全社員参加のもと、以下の災害防止と労働安全衛生活動を重点項目とし取り組みます。

- (1) 安全施工サイクルの完全実施
- (2) 墜落・転落災害防止
- (3) 重機・車輛災害防止
- (4) 交通災害防止
- (5) クレーン及び機械・器具による災害防止
- (6) 安全衛生パトロールの実施
- (7) 技能講習・特別教育等、資格取得の推進
- (8) 健康診断の完全実施
- (9) KY活動を始めとした快適な職場環境の整備
- (10) リスクアセスメントを実施し、重大リスクについてリスク低減に取り組みます。

労働安全衛生に関する法規制と当社が同意するその他の要求事項及び当社の安全衛生に関する規則を遵守します。

労働安全衛生方針は、全社員に周知徹底します。

本方針は一般公開します。

大栄産業株式会社は本方針を独自に経営に取り入れ、継続的な改善活動に努めてまいります。

「災害の大部分を占めるのは、初心者の不慣れな作業と、
逆に熟練者の過信による手抜きなどです」

制定：平成 25年 12月 2日

大栄産業株式会社
代表取締役 戸塚 和昭

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

大栄産業 株式会社
代表取締役 戸塚 和昭

2. 所在地

〒379-2152 群馬県前橋市下大島町154-1
(登記上の本社 〒371-0007 群馬県前橋市上泉町664-19)

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 戸塚 和昭
環境管理責任者 : 統括部長 星田 直人
担当 : 専務取締役 戸塚 とし子
TEL : 027-289-8181
FAX : 027-289-8182

4. 対象範囲

大栄産業 株式会社 全組織及び全活動

5. レポートの対象期間

2014年1月～12月の12ヶ月間

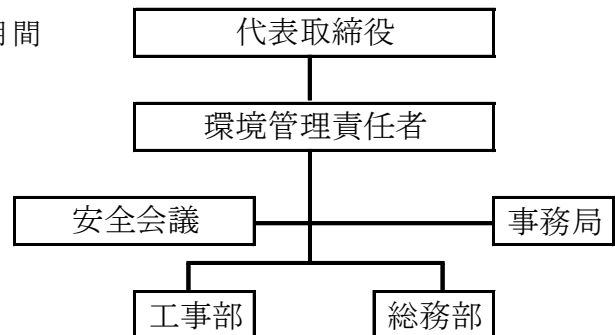
7. 事業の内容

建築物等の解体工事業

8. 事業概要

- ・法人設立年月日 平成12年 2月9日
- ・資本金 1,000万円
- ・売上高 44,300万円
- ・工事件数 236件 (2014年実績)
- ・従業員数 20人

6. 組織図



9. 産業廃棄物収集運搬実績 (t/年) 2014年1月～12月)

安定型品 目	コンクリートがら	20252.22	産廃
	アスコンがら	720.61	産廃
	その他 がれき類	1329.36	産廃
	ガラスくず・ 陶磁器くず	88.09	産廃
	廃プラスチック	400.66	産廃
	金属くず	78.08	有価物
	混合 (安定型のみ)	24.13	産廃

管理型品 目	建設汚泥	0.00	産廃
	紙くず	8.55	産廃
	木くず	1905.80	産廃
	繊維くず	29.60	産廃
	廃石膏ボード	832.20	産廃
	混合 (管理型含む)	141.80	産廃
特 管	廃石綿等	165.47	産廃

H26年度 現場件数 236件

※廃棄物処理料金は、廃棄物の種類、量、運搬距離等により見積りいたします。

大栄産業(株) 許可更新年月日一覧

申請場所	許可証種類	許可年月日	更新日	許可番号
群馬県	建設業	平成23年5月26日	平成28年5月25日	(般-23)第21356号
群馬県公安委員会	古物商			421200000535号
前橋市	一般廃棄物収集運搬	平成26年9月8日	平成28年7月7日	263号
群馬県	産業廃棄物収集運搬	平成23年9月8日	平成28年9月7日	1000129858号
埼玉県	産業廃棄物収集運搬	平成24年6月7日	平成29年5月31日	1102129858号
東京都	産業廃棄物収集運搬	平成24年11月26日	平成29年11月25日	13-00-129858号
栃木県	産業廃棄物収集運搬	平成25年1月11日	平成30年1月10日	0900129858号
長野県	産業廃棄物収集運搬	平成25年2月26日	平成30年2月25日	2009129858号
茨城県	産業廃棄物収集運搬	平成25年9月18日	平成30年9月3日	0080129858号
千葉県	産業廃棄物収集運搬	平成26年1月16日	平成30年12月10日	01200129858号
新潟県	産業廃棄物収集運搬	平成26年11月21日	平成31年11月18日	01509129858号
神奈川県	産業廃棄物収集運搬	平成24年8月23日	平成29年8月22日	01400129858号
群馬県	特別管理産業廃棄物収集運搬	平成23年1月20日	平成28年1月19日	01050129858号

各許可内容：廃棄物の種類

	燃え殻	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	石綿含有
群馬県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野県	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
茨城県	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
千葉県	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
新潟県	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
神奈川県	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○
群馬県 (特管)	廃油・揮発油等	廃PCB等	PCB汚染物								

11. 設備機器

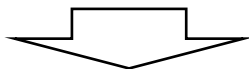
台数

運搬車両	アームローラー車	10t車	三菱ふそう	20m ³	2
	アームローラー車	4t車	三菱ふそう	8m ³	2
	アームローラー車	4t車	日野	8m ³	3
	アームローラー車	2t車	三菱ふそう	4m ³	1
	ダンプ	10t車	日野		1
	ダンプ	10t車	いすゞ		1
	ダンプ	4t車	ニッサンデイズ		1
	キャブオーバ	10t車	三菱		1
重機	油圧ショベル	CAT320L	キャタピラー	0.8m ³	1
	油圧ショベル	CAT320	キャタピラー	0.7m ³	2
	油圧ショベル	CAT312	キャタピラー	0.45m ³	1
	油圧ショベル	CAT307	キャタピラー	0.25m ³	1
	油圧ショベル	CAT301.5	キャタピラー	0.1m ³	1
	油圧ショベル	VI030	ヤンマー	0.12m ³	1
	油圧ショベル	VI015	ヤンマー	0.05m ³	1
アタッチメント	スーパーカッター	0.7用	古河	-	1
	スーパーカッター	0.7用	サカト	-	1
	カッター兼大割	0.7用	HSC	-	2
	カッター	0.7用	オカダ	-	1
	大割圧砕機	0.7用	ニューマチック	-	2
	大割圧砕機	0.7用	古河TS1100	-	1
	小割圧砕機	0.7用	古河パグラ	-	4
	小割 (マグネット付)	0.7用	古河パグラ	-	1
	全旋回フォーク	0.7用	オカダ	-	1
	ブレーカー	0.7用	古河	-	2
	大割圧砕機	0.7用	オカダ	-	1
	小割圧砕機	0.7用	オカダ	-	1
	全旋回フォーク	0.45用	オカダ	-	1
	大割圧砕機	0.45用	オカダ	-	1
	小割圧砕機	0.45用	古河	-	1
	ブレーカー	0.45用	古河	-	1
	フォーク	0.25用	松本	-	1
	ブレーカー	0.25用	古河	-	1
	フォーク	0.1用	東空	-	1
	大割圧砕機	0.1用	東空	-	2
ブレーカー	0.1用	東空	-	1	
ブレーカー	VI030用	古河	-	2	
その他	自走式クラッシャー	処理能力(15t/50h)	中山鉄工所		1
	フォークリフト			-	1
	コンプレッサー		北越工業	50馬力	1
	大型高圧散水機		スーパー工業	-	1
	小型高圧散水機		スーパー工業	-	2
	ペッカー			-	1
	アームローラーBOX			20m ³	3
	アームローラーBOX			10m ³	1
	アームローラーBOX			8m ³	9
	アームローラーBOX			4m ³	6
	産廃BOX			1.5m ³	9
	シートゲート	5400*H4500			2基
	キャスターゲート				2基
	防音シート				285枚

12. 解体作業の流れ

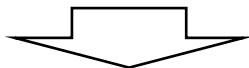
①お見積り依頼

建物の数量、構造や周囲の状況、解体の対象範囲、道路幅等を調査し、解体工法を決めて御見積書を作成します。



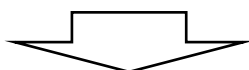
②工事の契約

工事内容やお見積などに同意の上でご契約を交わします。



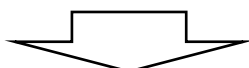
③建設リサイクル法に基づく届け出

建設リサイクル法により、延べ床面積が80平米を超える建物は届出が義務づけられています。



④近隣へのご挨拶

解体工事現場の近隣の方々にご理解いただくため、ご挨拶を含め、解体工事の概要・作業の工程・緊急連絡先などのご説明をいたします。



⑤工事着工

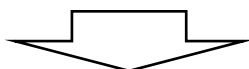
解体工事期間中は現場の作業環境や状況により万全の対応を行います。

- ・安全対策：毎日のKY活動、安全带使用、ガードマン確保
- ・防塵対策：散水、防炎シート
- ・騒音対策：防音シート、防音パネル養生、低騒音型重機使用
- ・振動対策：余剰負荷をかけない操作、重機低速走行



⑥産業廃棄物の搬出

解体工事により生じた産業廃棄物を分別し中間処理施設へ搬出します。※収集運搬業者は不法投棄を防ぐため、マニフェストに基づき、処理施設へ搬入する義務があります。



⑦工事の完了

工事現場内を平らに整地して工事完了となります。

3. 環境目標とその実績

当社に於ける2013年度(2013/1/1~2013/12/31)の環境負荷実績を把握し、2013年度~2015年度迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

1. 主要な環境目標と環境負荷・実績

環境目標	基準値	今年度目標		3年後の目標	環境活動計画 実施事項
	2013年度	2014年度		2015年度	
	実績	目標	実績	目標	
①二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂)【総量】	722,020	2013年度に対して4%削減	675,397	現状維持にて	①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④グリーンカーテンの設置 ⑤エコドライブ推進 ⑥社用車の点検・整備 ⑦電力・ガソリン量の集計
②事務所の廃棄物の削減(kg)	117.9	2013年度に対して20%削減	101.7	現状維持にて	①分別ルールの徹底 ②廃棄物排出量の集計 ③マニフェスト管理の徹底 ④裏紙使用ルールの徹底 ⑤現場廃棄物の分別・リサイクル率向上
③事務所の水資源投入量の削減(m ³)	139	2013年度に対して20%削減	125	現状維持にて	①毎月のメータ確認(漏水防止) ②節水表示 ③トイレの節水
④グリーン購入の推進(円:税抜き価格)	34,955	—	47,935	購入品リストによるグリーン購入の徹底	①購入品の調査 ②グリーン購入品の選定 ③グリーン購入品の決定
⑤環境に配慮した施工の徹底	—	ルールの周知	ルールの周知	ルールの徹底	①騒音振動を抑える対策ルールの周知 ②粉塵を抑える対策ルールの周知 ③苦情等の記録・対策ルールの周知

*購入電力の排出係数は、0.378を使用しています。

4. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守状況
大気汚染防止法	遵法
自動車NO _x ・PM法	遵法
オフロード法	遵法
浄化槽法	遵法
騒音規制法	遵法
振動規正法	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵法
労働安全衛生法	遵法
建設リサイクル法	遵法
フロン回収破壊法	遵法
石綿障害予防規制法	遵法
家電リサイクル法	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2014年9月20日の環境関連法規遵守状況の確認において、
環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去4年間ありません。

5. 環境活動計画の取組みと評価

*2014年度（2014年1月～12月）の12ヶ月の活動の取組みと評価をしております。

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 『目標』 2013年度に対して4%削減 目標の達成状況：2.55%減	車両・重機のアイドリングストップ、不必要な運転をなくすという基本的内容を徹底した結果が現れていると思う。
	次年次への取組内容
	エコドライブ意識の更なる向上と、重機・車両の適正な整備を怠らない
2. 廃棄物の削減 『目標』 2013年度に対して20%削減 目標の達成状況：7.84%増	分別用のゴミ箱を事務所横に設置し削減に努めましたが、前年より削減は出来ましたが目標設定が少し高かったため達成できませんでした。
	次年次への取組内容
	資源ゴミ分別の徹底
3. 水資源投入量の削減 『目標』 2013年度に対して20%削減 目標の達成状況：12%増	前年に比べ削減は出来ましたが、目標の達成は出来ませんでした。
	次年次への取組内容
	徹底して節水に努める。
4. グリーン購入比率の向上 『目標』 現状把握 目標の達成状況：◎	事務所で使用するコピー用紙や文具類を常にグリーンとエコマークの商品で購入するよう努めた。
	次年次への取組内容
	購入品、購入場所を決定し継続する。
5. 環境に配慮した施工の徹底 『目標』 ルールの周知 目標の達成状況：◎	C R C 解体工法を採用し実践した結果、騒音抑制工事が出来た。 「体工事自主検査表」や「リスクアセスメント・KY活動表」の活用で騒音・振動・粉塵対策につながった。
	次年次への取組内容
	更なる各自の意識の向上と徹底をはかる。

5. 環境活動計画の取組みと評価

代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の活動開始より4年、全社員の環境に対する意識は確実に高まっている。決められたルールを守り、全社員が継続的に実施していこうとする姿勢が見られる。全車両ドライブレコーダーの導入により、社員全員のエコドライブ意識が高まった。体制は小規模であるものの、昨今ではこういった取組が取引会社様等にも周知されていることから、環境方針に基づきエコアクション21を取り組むサイクルが継続的に機能していると判断している。

しかし工事受注は増加しており、重機や車両の購入によりCO2の削減目標は達成できなかった。

大栄産業では新規事業として、再生可能エネルギーによるエネルギー自給率の向上と温室効果ガス排出削減に貢献するため、太陽光発電によるクリーンエネルギーの供給に携わっています。現在約1000KWが稼働しており、CO2排出削減量は推定48000kg-CO2/kWhになっています。今後は蓄電池の導入により、エネルギー自給率の向上と環境に配慮した活動の一層の意識向上を目指して行きたいと思えます。